

別記第2号様式（第4条関係）

## 土地境界確定申出書

年 月 日

（あて先）周南市長

土地所有者（申出者）

住 所

氏 名

印

実務取扱者

住 所

登録番号（土地家屋調査士・測量士）

氏 名

職印

担当者（ ）電話（ ）

私所有の下記土地と建設部所管公有地（法定外公共物）との境界（地図朱線の箇所）の確定を申し出ます。

### 記

#### 1 土地の所在・地番

大字・町名	字・丁目	地 番

2 申出理由 \_\_\_\_\_

3 立会年月日 年 月 日

#### 4 提出書類

現地案内図、地図（公図）写し、全部事項証明書（写し可）、  
土地所有者調書、その他参考資料

受付印

.....  
申出者の方へ

※ 国有財産特別措置法第5条第1項第5号の規定に基づき、国から周南市が譲与された公有地（法定外公共物）であることを窓口で確認のうえ、申し出てください。

※ 協議成立の場合、申出者は土地境界実測平面図を添付した土地境界確認書を2部作成し、受付担当課に提出してください。

なお、①申出書受理後、3ヶ月を経過しても、当部の責に帰さない事由で現地立会い及び協議を行うことができない場合②立会い完了後、1年以内に土地境界確認書の提出がない場合等は、「取下げがあったもの」又は「不能、不調案件」として処理し、当該申出書を返戻します。

※ この申出書の作成にあたっては、別記「建設部所管の公有地との土地境界確認・確定の申出に係る提出書類の作成要領」を参照のうえ記載してください。

## 土地所有者調書

調査年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

A 土地の所在		B 地 番	C 地 積(m <sup>2</sup> )	D 所有者名	E 登記簿上住所	F 登記原因
大字・町名	丁目・字				現住所	その年月日

**作成要領**

1 次の土地については、土地登記簿・閉鎖登記簿の記載事項を調査のうえ、A欄からF欄まで記入してください。

- ①「申出地」
- ②「申出地の両隣の土地」
- ③「申出地の対側地」（原則1筆以上向う三軒）
- ④「申出地に接する公有地」

2 F欄の「登記簿上住所」と「現住所」が異なる場合は、2段書きしてください。

# 土地境界確定書

年 月 日

周南市長 印

（申出者）住所

氏名 印

年 月 日境界立会をした結果、下記土地について別紙図面のとおりに境界を確定したので本書 2 通を作成し、各自 1 通を保有する。

## 記

- 1 申 出 地
- 2 申出地に隣接する法定外公共物

（注）申出者の印鑑証明書を添付させること。

## 委任状

(代理人) 住 所 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_

私は、上記の者を代理人と定め、次の権限を委任します。

### 記

土地所在、地番 \_\_\_\_\_

上記私所有の土地と建設部所管公有地との土地境界確認及び土地境界確定のための  
現地立会、及び境界合意に関する一切の権限。

年 月 日

(あて先) 周南市長

(委任者) 住 所 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_

実印

年 月 日

（あて先）周南市長

土地所有者（申出者）

住 所

氏 名

土地境界確認・確定申出の取下げについて

年 月 日付で申し出た下記土地と公有地（市道、準用河川、法定外公共物）との土地境界確認・確定申出は、下記の理由により取り下げます。

記

- 1 土地の所在 .....  
.....
- 2 受付番号 第 号
- 3 取下げ理由 .....  
.....

（注意） 市道、準用河川、法定外公共物のうち、必要なものを明記すること。

年 月 日

（あて先）周南市長

新土地所有者

住 所

氏 名

土 地 所 有 者 変 更 届

このたび、下記土地の所有権を取得しましたので届け出ますので、所有者変更事案として引き続き処理されますよう依頼します。

記

1 土地の所在 .....

2 旧土地所有者 .....

3 所有権変更登記年月日 年 月 日

4 登記原因 .....

5 添付書類

全部事項証明書（土地）、資格証明書（法人の場合）、その他参考資料